

工場別環境保全活動と排出データ

本社・研究開発本部



所在地 横浜市金沢区
 業務内容 企画・管理・研究開発
 敷地面積 123,749m²
 延床面積 39,067m²
 業務開始 1991年2月
 従業員数 389人

●環境保全活動

- 廃棄物削減と再資源化**
- 横浜事業所全体でゼロエミッションを掲げ、これを達成するためにY530プロジェクト活動に参画し、達成、維持しています。
- 化学薬品の処理汚泥と除害設備からの処理汚泥をリサイクルできる活動に取り組み、汚泥の100%再資源化を達成しました。
- 化学物質の管理**
- 研究開発本部では、化学物質管理システムを2000年より構築し運用、改善していくことにより、環境に対する意識啓発にも役立ち、管理状態をタイムリーに把握することができています。

●大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市指導要綱)

物質	設備	規制値	実績
NOx	温水ボイラー	A	0.065
		B	0.075
	冷温水発生器	A	0.066
		B	0.046
ばいじん	温水ボイラー	A	0.05
		B	0.05
	冷温水発生器	A	0.05
		B	0.05

NOx単位: m³N/h ばいじん単位: g/m³N

●水質:本館棟(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	8.2	6.8	7.50
油分	5	1.5	0.1	0.70
Fe	3	0.15	0.01	0.030
Zn	1	0.1	0.01	0.015
Ni	1	0.04	0.01	0.011
T-Cr	2	0.01	0.01	0.010
フッ素	8	1.53	0.01	0.104

単位: mg/l

●水質:研究開発棟(横浜市下水道条例)

項目	施設	規制値	実績		
			最大	最小	平均
pH	研究開発棟1	5~9	7.8	6.6	6.99
			7.7	6.3	7.03
油分	研究開発棟1	5	1.5	0.1	0.75
			1.5	0.1	0.68
Fe	研究開発棟1	3	1.41	0.03	0.422
			0.37	0.01	0.078
Zn	研究開発棟1	1	0.2	0.02	0.081
			0.03	0.01	0.015
Ni	研究開発棟1	1	0.04	0.01	0.017
			0.05	0.01	0.017
T-Cr	研究開発棟1	1	0.02	0.01	0.01
			8.46	0.03	3.037

単位: mg/l

ばね横浜工場



工場長 森 雅彦

所在地 横浜市金沢区
 生産品目 板ばね・コイルばね・ラジラスロッド
 敷地面積 123,749m²
 延床面積 39,127m²
 操業開始 1987年11月
 従業員数 342人

●工場方針

当工場は、「地球にやさしいばねづくり」を実現するために、環境保全、省エネルギー、廃棄物削減などの環境管理活動を工場運営の重要基盤の1つとして展開し、従業員の環境意識高揚を図ります。

●環境保全活動

- 廃棄物削減と再資源化**
- 工場環境推進委員会で教育・啓発活動を活発に展開し、各職場の環境個別改善により17%の廃棄物を削減しました。
- 日常的に発生する廃棄物は、2003年度通期実績で99.9%の再資源化率を達成しています。
- 省資源活動**
- 2002年度より「水の使用量削減」に取り組み、ワーク冷却用工業用水を再使用する改善を実施しました。これにより上水使用量を年間6,564m³削減することができました。

●大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市指導要綱)

物質	設備	規制値	実績
NOx	金属加熱炉	A	0.125
		B	0.108
		C	0.189
		D	0.161
		E	0.106
	金属戻し炉	A	0.163
		B	0.105
		C	0.089
		D	0.073
		E	0.051
ばいじん	金属加熱炉	A	0.1
		B	0.1
		C	0.1
		D	0.1
		E	0.1
	金属戻し炉	A	0.1
		B	0.1
		C	0.1
		D	0.1
		E	0.1

NOx単位: m³N/h ばいじん単位: g/m³N

●水質(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.6	6.7	7.16
油分 動物油	5	1.0	1.0	1.00
油分 動植物油	30	18.4	1.0	4.46
Fe	3	0.07	0.01	0.026
Zn	1	0.06	0.01	0.035
Ni	1	0.6	0.01	0.261
Mn	1	0.01	0.01	0.010
フッ素	8	6.75	0.01	0.688
ほう素	10	0.5	0.1	0.243

単位: mg/l

滋賀工場



工場長 古市 泰丸

所在地 滋賀県甲賀郡水口町
 生産品目 コイルばね・スタビライザ・トーションバー
 敷地面積 113,445m²
 延床面積 43,301m²
 操業開始 1973年11月
 従業員数 252人

●工場方針

当工場は、「すべてに健康でみんなが自慢できる工場の実現」を環境活動のスローガンにあげ、従業員の環境意識高揚を促すとともに、生産から廃棄まで、全ての段階で継続的改善に取り組むことにより、地球環境保全に寄与します。

●環境保全活動

- 廃棄物削減と再資源化**
- 汚泥の乾燥化により排出重量を14.3%削減できました。
- 軍手の洗濯再利用とサークル活動により軍手使用量を32%、購入費を37%削減できました。
- 塗装前処理スラッジ・塗装ハンガー焼却灰をセメント骨材として再資源化できました。
- 省エネルギー**
- エアコン、ハロゲン灯について、エコ商品への積極的切換えを実施しました。
- エアリーク対策によりコンプレッサー稼働時間を短縮しました。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	金属加熱炉	A	180
		B	180
	焼却炉	300	
ばいじん	金属加熱炉	A	0.25
		B	0.25
	焼却炉	0.25	

NOx単位: ppm ばいじん単位: g/m³N

●水質(規制値:水口町協定)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	6~8	7.8	7.1	7.53
BOD	20	1	1	1.00
COD	20	3	1	1.92
SS	10	4	1	1.67
油分	3	1.4	0.1	0.82
総窒素	12*	12.46	2.65	5.603
総リン	1.2**	0.38	0.05	0.078

※滋賀県条例 単位: mg/l

群馬工場



工場長
菊地 一夫

所在地	群馬県新田郡尾島町	群馬県太田市
生産品目	自動車用シート	自動車内装品
敷地面積	48,908m ²	29,279m ²
延床面積	19,209m ²	15,184m ²
操業開始	1986年12月	1969年7月
従業員数	365人	尾島地区に含む (太田地区)

●工場方針

当工場は、地球環境への配慮を工場運営の重要基盤の1つと考え、当工場の事業活動および製品の環境に与える影響を低減し、地球環境を健全な状態で次の世代に引き継いでいくことを我々の責務と捉え、環境マネジメント活動を推進し、地域環境との調和をめざします。

●環境保全活動

■省エネルギー

●コージェネレーションシステムを導入し、電気13%の省エネルギーが予測されています。また、温排水を回収利用することでエアコン13基の冷暖房に利用することができました。

■廃棄物(ウレタン)削減への取り組み

●設備改善(老朽化対応、高圧発泡機)等を実施するとともに、ウレタン物性室の新設、原料の流量監視システムの構築によりウレタン廃棄物の削減を図ります。これによりウレタン廃棄物原単位を2003年度末に対前年度比77%削減できました。

●大気(法規制外設備のため自主規制値)(尾島地区)

物質	設備	規制値		実績		
		A	B	最大	最小	平均
NOx	ボイラー	A	300	300	56.1	
		B	300	300	62.9	
		C	300	300	89.7	
ばいじん	ボイラー	A	0.2	0.2	0.024	
		B	0.2	0.2	0.012	
		C	0.2	0.2	0.039	

NOx単位: ppm ばいじん単位: g/m³N

●水質(規制値:尾島町協定)(尾島地区)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	6~8	7.3	6.5	6.99
BOD	10	3	1	1.77
SS	10	7	1	1.88
油分	3	2.3	0.1	1.19

単位: mg/ℓ

●水質(規制値:群馬県条例)(太田地区)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.9	7.2	7.53
BOD	40	9	1	3.08
COD	40	12	2	5.50
SS	50	33	1	7.17
油分	5	1.5	0.1	0.82

単位: mg/ℓ

シート横浜工場



工場長
滝沢 富士夫

所在地	横浜市金沢区
生産品目	自動車用シート・内装品
敷地面積	123,749m ²
延床面積	35,841m ²
操業開始	1990年4月
従業員数	338人

●工場方針

当工場は、環境保全への取り組みを工場運営の重要課題の1つと位置づけ、地球環境を健全な状態で次の世代に引き継いでいくことが我々の責務としてとらえ、限られた経営資源を有効に活用して環境意識の向上と地域社会への貢献を行い、さらなるスパイラルアップを図っていきます。

●環境保全活動

■廃棄物削減と再資源化

●全員参加のごみ分別活動を継続推進し、再資源化率99%以上を維持しました。2004年度は、製品等の解体分別の更なる徹底を行い、リサイクル率の向上をめざします。

■環境負荷物質の排出削減

●空調機の冷媒(R22)を代替フロン(R410A)に変更し、環境負荷物質の全廃を推進します。
●2004年は、横浜事業所におけるコージェネレーションシステムの導入に伴い、排熱を利用した蒸気吸収式冷凍機による空調システムへ入れ替える計画です。

●大気(規制値:大気汚染防止法・横浜市指導要綱)

物質	設備	規制値		実績		
		A	B	最大	最小	平均
NOx	ボイラー	A	0.067	0.067	0.060	
		B	0.067	0.067	0.062	
ばいじん	ボイラー	A	0.05	0.05	0.021	
		B	0.05	0.05	0.011	

NOx単位: m³N/h ばいじん単位: g/m³N

●水質(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.9	6.6	7.04
油分 鉱物油	5	1.8	1.0	1.06
油分 動植物油	30	6.9	1.3	4.59
Fe	3	1.37	0.01	0.180
Zn	1	0.57	0.01	0.100
Ni	1	0.31	0.01	0.068

単位: mg/ℓ

豊田工場



工場長
梅村 太郎

所在地	愛知県豊田市
生産品目	自動車用シート・内装品
敷地面積	59,086m ²
延床面積	33,411m ²
操業開始	1961年6月
従業員数	277人

●工場方針

当工場は、「^{ゆはぎ}矢作川の豊かな清流に恵まれた地で地球環境に配慮した工場づくり」をめざし、全ての事業活動で環境保全の向上および社会への貢献を継続的に実施していきます。

●環境保全活動

■廃棄物削減と再資源化

2003年度は全員参加のごみ分別活動推進と、廃棄物の適正な処理方法の確立による再資源化への積極果敢な活動によりゼロエミッションを達成しました。2004年度以降はゼロエミッションの継続と金属以外での再資源化率向上をめざして日々活動していきます。

■省エネルギー

2004年度の重点課題である省エネルギー活動として、エアー漏れの徹底した撲滅活動とその維持・管理および、非稼働時のロスエネルギーの削減活動を推進していきます。

●大気測定対象設備無し

●水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.4	6.7	7.03
BOD	600	6	1	2.42
COD	600	12	3	6.42
SS	600	5	2	3.17
油分	5	1.7	0.1	0.83
Zn	5	0.06	0.01	0.044
Cu	3	0.01	0.01	0.010

単位: mg/ℓ

工場別環境保全活動と排出データ

厚木工場



工場長
荒木 伸夫

所在地 神奈川県愛甲郡愛川町
生産品目 薄板ばね・精密プレス品
敷地面積 47,662m²
延床面積 25,015m²
操業開始 1970年11月
従業員数 422人

●工場方針

当工場は、薄板ばねを中心に自動車関連製品・情報機器関連製品などの高精度、高品質、高 cleanliness 製品を開発し生産しています。環境保全活動をスパイラルアップさせながら、地域と密着した環境対応型工場をめざします。相模川と中津川にはさまれた清らかなこの環境をいつまでも大切を守るべく、従業員全員の意識向上を図り「地球にやさしい工場づくり」をめざします。

●環境保全活動

- 廃棄物削減と再資源化
 - 再資源化ルートを開拓し、2004年2月より99%以上を達成しました。また廃棄物の削減にも取り組んでいます。
 - 紙ごみ等に使用していた焼却炉をダイオキシン対策の一環として撤去しました。
 - 廃棄物置場を集約し、リサイクルセンターとして整備しました。
 - 地域貢献活動として相模川クリーンキャンペーンに参加し、参加メンバーの数は参加企業の中で最多でした。

●大気（規制値：大気汚染防止法）

物質	設備	規制値	実績
NOx	温水ボイラー	250	82.6
	ばいじん	0.3*	0.024

※神奈川県条例 NOx単位：ppm ばいじん単位：g/m³N

●水質（規制値：下水道法）

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.4	6.3	7.04
BOD	600	23	5	10.8
SS	600	29	2	19.2
油分	5	4.8	1.8	4.61
Fe	10	0.65	0.04	0.258
総窒素	125	28	6.69	17.30
フッ素	8	0.32	0.01	0.04
ほう素	10	0.19	0.1	0.1

単位：mg/ℓ

伊那工場



工場長
高橋 哲郎

所在地 長野県上伊那郡宮田村
生産品目 線ばね・精密加工品
敷地面積 38,805m²
延床面積 28,002m²
操業開始 1943年12月
従業員数 454人

●工場方針

当工場は、自動車の主要部品であるバルブスプリングをはじめ各種線ばね、機能製品など、高品質・高性能で環境への負荷が少ない製品を開発・製造し提供しています。

今後より一層の地球環境保護を推進するとともに、伊那谷の緑豊かな山々と青い空、そして澄んだ河川の流れを後世に継承するため、地域社会との共存を図りながら、地球環境にやさしい工場づくりを進めていきます。

●環境保全活動

- 廃棄物削減と再資源化
 - リサイクル処理でできなかった廃棄物の再資源化ルートの開拓や廃棄物の分別強化により2003年度末で再資源化率99%を達成しました。
- 省エネルギー
 - 電気炉上部に断熱ジャケットを被せ、保温性を高めることにより省エネルギー対策を実施しました。

●大気（規制値：大気汚染防止法）

物質	設備	規制値	実績
NOx	暖房用ボイラー	A	180
		B	180
		C	180
ばいじん	暖房用ボイラー	A	0.3
		B	0.3
		C	0.3

NOx単位：ppm ばいじん単位：g/m³N

●水質（規制値：長野県条例）

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.6	7.3	7.39
BOD	20	3	1	1.3
COD	20	2	1	1.4
SS	30	3	1	1.2
油分	5	1.6	0.3	0.93
Fe	10	0.32	0.02	0.094
Cu	3	0.04	0.01	0.023
総窒素	120	3.32	1.57	2.557
総りん	16	0.05	0.05	0.050

単位：mg/ℓ

DDS駒ヶ根工場



工場長
本多 明廣

所在地 長野県駒ヶ根市
生産品目 HDD用サスペンション・機能部品(精密生本)
敷地面積 94,293m²
延床面積 30,931m²
操業開始 1983年11月
従業員数 375人

●工場方針

当工場は、コンピュータのハードディスク用サスペンションを生産し、社会の発展に貢献しています。その生産活動において継続的な環境保全活動を行うことで「環境にやさしい工場づくり」をめざしています。さらに全員が環境保全に対する正しい知識と行動を身につけ、自ら環境にやさしい生活を営むことで、この自然を美しいまま後世に残していきます。

●環境保全活動

- 廃棄物削減と再資源化
 - 燃やすごみと廃プラ複合物の再資源化および廃棄物の分別に全員で取り組み、2004年1月に再資源化率99%以上のゼロエミッションを達成し、維持しています。
- 省エネルギー
 - クリーンルーム用空調機において運転台数のこまめな見直しを行い、また稼働設備の運転見直しにより洗浄機室エアコン等の休止を行い、省エネルギーを実施しました。

●大気測定対象設備無し

●水質（規制値：長野県条例）

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.8	6.8	7.33
BOD	20	5	1	1.8
COD	20	13	1	3.0
SS	30	6	1	1.9
油分	5	1.6	0.3	0.93
Cu	3	0.11	0.01	0.058

単位：mg/ℓ

伊勢原工場(接合・セラミック部/特品部)



取締役副本部長
永田 正男

所在地 神奈川県伊勢原市
生産品目 ろう付品・配管支持装置・特殊ばね
敷地面積 8,968m²
延床面積 17,621m²
操業開始 1993年3月
従業員数 127人

●工場方針

当工場は、多くの部門が集合し多岐にわたる事業を展開しています。その全ての事業活動の中で、環境保全活動に取り組み、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の低減等、継続的に改善を実施していきます。

●環境保全活動

■有害物質(鉛はんだ)の全廃

●2003年度から有害物質である鉛はんだの全廃への取り組みを展開し、2004年4月から鉛フリーはんだへの全面切替を実現しました。

■廃棄物削減と再資源化

●機密書類のシュレッダー処理、ミックスペーパー分別により各々紙の原料への再資源化が可能になりました。

●生ごみの分別を徹底することで再資源化率99%を達成しました。2004年度は99%の維持および排出量の削減に取り組みます。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	冷水ボイラー	A 150	40.8
		B 150	54.7
ばいじん	冷水ボイラー	A 0.1※	0.012
		B 0.1※	0.016

※神奈川県条例 NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

●水質(規制値:排水量50m³/日未満のため自主管理)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.3	6.7	6.94
BOD	130	12	3	6.9
COD	130	12	6	10.4
SS	160	5	1	2.8
油分	5	1.7	0.5	0.98
Fe	3	0.1	0.01	0.063
Zn	1	0.22	0.1	0.145

単位:mg/ℓ

産機駒ヶ根工場(化成品・電子部品部)



工場長
川口 博正

所在地 長野県駒ヶ根市
生産品目 特殊発泡ポリウレタン製品
金属ベースプリント配線基板
敷地面積 94,293m²
延床面積 12,263m²
操業開始 1981年12月
従業員数 128人

●工場方針

当工場は、機能的ウレタン製品およびプリント配線板の開発、設計、生産を行い世界各国に供給しております。この地は、2つのアルプスが映える緑豊かな景勝地にあり、地域の環境保全に取り組み、全ての事業活動において継続的な環境保全活動を実施していきます。

●環境保全活動

■廃棄物の分別・保管強化による再資源化

●ゼロエミッション達成に向けた分別・保管の徹底および再資源化処理業者の選択を行い再資源化率99%以上を達成しました。

■環境負荷物質(ジクロロメタン)の全廃への取り組み

●ウレタン発泡機洗浄剤のジクロロメタンを代替洗浄剤に変更し、2005年3月迄の全廃に取り組みます。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	温水ボイラー	A 180	68.1
		B 180	51.6
	多段プレスボイラー	A 180	58.0
		B 180	87.2
ばいじん	温水ボイラー	A 0.3	0.013
		B 0.3	0.051
	多段プレスボイラー	A 0.3	0.044
		B 0.3	0.015
暖房用ボイラー	A 0.3	0.055	
	B 0.3	0.055	

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

●水質(規制値:長野県条例)第一生産棟

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	8.1	7.2	7.68
BOD	20	2	1	1.1
COD	20	3	1	1.9
SS	30	4	1	1.6
油分	5	1.4	0.1	0.78
Fe	10	0.12	0.02	0.083
総りん	16	0.05	0.05	0.050

単位:mg/ℓ

●水質(規制値:長野県条例)第二生産棟

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.3	6.5	6.90
BOD	20	15	1	5.5
COD	20	17	1	7.8
SS	30	6	1	1.8
油分	5	1.4	0.1	0.66
Fe	10	0.52	0.1	0.228
Cu	3	0.16	0.01	0.066
総りん	16	0.05	0.05	0.05

単位:mg/ℓ

野洲工場(パークング部)



工場長
横山 敏雄

所在地 滋賀県野洲郡中主町
生産品目 立体駐車装置
敷地面積 33,921m²
延床面積 13,142m²
操業開始 1996年10月
従業員数 65人

●工場方針

当工場は、機械式駐車装置などの高品質・高機能で環境への負荷が少ない製品を開発、製造しています。今後もより一層の地球環境保護を推進するとともに、琵琶湖を囲む緑豊かな山々、青い空と河川の流れなどのすばらしい環境を後世に継承するため、環境保全の継続的改善に取り組んでいきます。

●環境保全活動

■廃棄物削減と再資源化

●ゼロエミッション達成に向け、埋め立て廃プラの分別を強化し汚泥類とともにサーマルリサイクル化を実現しました。さらに燃やすごみの分別強化を図り、廃棄物削減活動を行っています。

■省エネルギー

●工場内の作業エリア毎照度設定を行い、工場ハロゲン灯のプログラム管理で省エネルギーに取り組んでいます。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	ボイラー	150	45.0
		230	23.0
ばいじん	ボイラー	0.1	0.037
		0.2	0.017

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

●水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.6	6.8	7.13
BOD	600	5	1	2.2
SS	600	8	1	4.5
油分	5	2.1	0.1	0.93
Ni	1	0.46	0.08	0.248
総窒素	60	29.09	11.6	18.370
総りん	10	1.15	0.12	0.420

単位:mg/ℓ